

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		学力向上推進ティーチャー				所管	教育委員会 指導課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	223	計画事業名	児童・生徒の学力向上			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-2. 次の世代の育成 [小 柱] (3) 社会を生き抜く力を育てる教育の推進 [施 策] ①個性を生かす学校教育の充実				[事業開始]	平成19年度			
	根拠法令等	要綱	〔法令等名〕		学力向上推進ティーチャーの配置に関する要綱 等					
	事業対象	直接の対象 : 区立小中学校 最終的な対象 : 上記児童・生徒								
	事業目的	①主要教科における指導法改善による基礎学力の充実 ②放課後における学習指導の実施による基礎学力の充実 ③課題のある学級への派遣による学習環境の整備								
	事業内容 [29年度]	区立小中学校に、主要教科において少人数指導やチームティーチング及び放課後等における希望者への学習指導を行うために、これに従事する講師を配置する。また、課題のある学級に講師を配置し、学習環境を整える。								
	委託の有無	なし		委託内容		なし				
	補助金の有無	なし		なし		なし				
事務事業の実績	種 別	指標の名称		単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績 目標値 達成率		
	活動指標	対象小・中学校数(全校数26)		校	26	26	26	26	26	100.0%
	成果指標	派遣時間数		時間	37,444	36,212	36,740	36,724	37,444	98.1%
	決算額 (単位:千円)					27年度		28年度		29年度
	事務事業コスト (単位:千円)		人にかかるコスト(人件費など)			110,369		110,084		124,271
			物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			18		26		18
			その他のコスト(扶助費・補助費など)			0		0		0
			総経費			110,387		110,110		124,289
	財源項目 (単位:千円)		受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0		0		0
			その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			195		133		7,151
一般財源(区負担額)			110,192		109,977		117,138			
前回評価から29年度に改善した事項		学力下位の児童生徒に対して授業以外の学習時間を確保し家庭学習を補完するため、学力向上推進ティーチャーを放課後学習に活用する学校に対して時間数を多く配分した。								
評価の視点	評価		評価の理由							
	必要性	3	地域や保護者は学校に学力の保証を期待しており、学校もそれに応えようとしている。本区は教科によっては全国的に見て必ずしも学力上位とは言えないため学校の努力に加え施策によりこの問題を解決する必要がある。							
	効率性	3	基礎学力に課題がある児童生徒は授業の進度についていくことが困難であり、チームティーチングによる個別対応や少人数指導を行うことでフォローしていく必要があるが、現状の教員定数ではその体制が十分に取れないため、区費により講師を追加配置することでコストに見合った効果を上げている。							
	手段の適切性	3	基礎学力に課題のある児童生徒を手厚くフォローする体制をとることにより、学校全体の学力を底上げできている。							
目的達成度	2	各校の事業実施計画に基づいた必要派遣時間数の実施をしているが、全国学力調査の結果、全国平均に届いていない教科もある。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
各校の事業実施計画に基づいた必要派遣時間数の実施ができている。教員人事は東京都全体で行われており指導力はどの学校も平均的水準は持ち合わせており、学校の努力だけで学力の課題解決をすることは困難である。そのため、地域や保護者の期待に応えるためにも、本事業をより効果的に活用する方法を検討する必要がある。						改善		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
						改善				